

# 新年のごあいさつ

## 令和3年の新春を迎えて

津市長 前葉 泰幸

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が日本中に広がり、国からの学校の臨時休業の要請により、3月2日以降全国の小・中・高等学校が一斉に臨時休業を行ったことで、家庭環境が一変し、その後、4月16日には緊急事態宣言が全国に拡大されたことで、市民生活や地域経済が影響を受け、企業活動や職場環境など、社会が大きく変わった年でありました。

津市は、このような変化に対して、給食費3カ月分の無償化などの家計支援や消費拡大に向けたプレミアム付商品券発行による事業者支援を行い、さらに、コロナありきの新しい生活様式に対応していくための環境整備として、保育所・幼稚園等の空調設備の整備や避難所施設のトイレ洋式化を一気に進めることなど、その時々状況に応じた支援を市役所一丸となって取り組んでまいりました。また、コロナの影響でオープンを延期していた久居アルスプラザは、昨年10月1日にグランドオープンし、その後1カ月で2万4,000人の方が来館されました。毎年恒例の津花火大会や津まつりは中止になりましたが、津市出身の写真家の写真集を原案とした映画「浅田家！」が公開され、ロケ地となった専修寺や浅田家！パネル展には日本全国から多くの方に津市にお越しいただき、まちに活気を与えてくれました。

そして迎えた令和3年、今年もコロナ対策に万全を期さなければなりません。市民の皆様の命と健康を守るため、引き続き、感染予防対策を進めながら、市民生活や地域経済をしっかりと支え続けることを市政運営の最優先課題として取り組んでまいります。そのなかで、いよいよ今年の秋には三重とこわか国体・三重とこわか大会が市内各所で開催されます。ウィズコロナ時代に開催される最初の国体・大会として、津市が持つまちの魅力を全国に発信しながら、東海随一の規模を誇るサオリーナをはじめとする各競技会場で素晴らしい熱戦が繰り広げられるよう、これまで準備してきたことをしっかりと形にして、参加される皆様の記憶に残る国体・大会にしていきたいと思います。

皆様にとって、本年が健やかで希望に満ちあふれる年となりますことをお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。